

2020年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書（最終）

非公開希望	項目	内容
	所 属	法学部／研究科 政治学科／専攻 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 慶北大学校 人文学部 韓国語文学科
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2021年 9月 1日 ～ 2022年 6月 21日 出国日 2021年 8月 15日 最終帰国日 2022年 6月 28日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

（1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

学業面においては積極性をもって目標に向けて取り組むことが出来たと感じています。一方で、交流においてはもっと活発的でもよかったと感じます。自身の中では、留学前の自分と比較し成長した部分があると感じるものの、他の留学生たちを見ると積極性が劣っていると感じる部分もありました。そうした点を踏まえると、自分には積極的すぎると感じるほどの行動力をもって色々取り組むことで、より充実した留学生生活を過ごせたのではないかと感じました。

（2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

主に韓国語を中心とした生活を想定していた為、韓国語の事前準備に力を入れました。しかし、実際に現地に行くと英語の利用率が高く、事前に英語を準備するべきであったと強く感じます。特に英語圏からの留学生は、多くの人が韓国語を話せず英語で会話を行ない、英語で開講される講義を受講しています。その為、英語ができないと他の留学生との交流は難しいと感じました。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

留学生を対象にした講義では、学生の理解や学習スピードに合わせて授業を行なっている印象が強くなります。他方、現地学生に向けた講義は、難易度が難しいことに加え、進行スピードもやや早いように感じます。しかし、現地学生は相対評価、留学生は絶対評価と評価方法が分けられる為、極端に低い評価を受けることはあまりありません。教授も親切であり、学校全体としても留学生へのサポートが手厚く、勉強に関して不安を感じる部分は少なかったです。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスはとても広く、緑豊かな印象でした。構内には噴水や広場、テニスコート、バスケットコート、野球場、サッカー場などがあり、学生だけでなく地域の人も多く利用しています。また、食堂やカフェテリア、コンビニ等もいくつかあり十分に施設が整っています。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

慶北大学校では、外国人学生に向けて3つのレベルに分けられた韓国語を総合的に学ぶ講義が設けられています。更により上級なものとして、スピーキング、リスニング、ライティング、リーディングにそれぞれ特化した講義も開講されています。この他にも、希望者に提供される韓国語の作文プログラム(1時間週一回×5回)や外国人弁論大会などが実施されるなど、語学面は充実していると感じます。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面は、基本的にバディがサポートをしてくれます。寄宿舎に関する問題は、寄宿舎長や管理室に相談すると対応してくれます。

留学生向けのイベントは多く開催されています。全協定留学生を対象としたイベントには、所属する大学を現地の人に紹介するインターナショナルデイや大邱観光、慶州観光、お別れ会などがあります。また申請や費用が掛かりますが、農業体験やキムチ作り体験を行えるプログラムも提供しています。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

私は現地での奨学金をもらわなかったため、情報がありません。

しかし奨学金とは少し異なりますが、試験期間時にパンや飲み物を無料で配布したり、夏にはアイスを提供していることがあります。数に限りがありますが、交換学生であってももらうことができます。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学周辺は、落ち着いていながらも程よく賑わっている印象があります。学生が多いためカフェで勉強をする人も多く、治安が悪い感じはありません。カフェもありご飯屋もあり、遊び場もあるため丁度いい環境であると感じます。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

日本より学部ごとの交流が盛んであると感じます。慶北大学校では、各学部を〇〇大学と表記し、各学部(大学)がそれぞれにイベントを企画・実行しています。そうしたイベントを通して学部生同士の交流を盛んにし強く繋がりを築いていると思いました。(しかし交換留学生は、あまり学部内のイベントには参加しづらいです。)

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Cultural Life In Korea (3)	
Practical Korean Writing (3)	
Practical Korean Listening (3)	
Academic Korean Reading (3)	
Korean LanguageⅢ (3)	
Academic Korean Speaking (3)	
Practical Use of the Korean Language & Literature (3)	
History of Japanese Linguistics (3)	
Seminar on Japanese Economics 1 (3)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

一学期分(約4カ月) (現地通貨) 約 550000 ウォン、(日本円) 約 57000 円

夏季・冬季休業分(約2か月) 約 35000 ウォン、約 37000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 (テイクアウト、外食)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 0 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

構内で一番古い寄宿舎であったため、壊れた部分も多く見受けられたが、生活するにあたり極端に不便なことはあまりなかった。強いて言うならば、5つあるシャワーが3つしか使用できなかつたり洗濯機が不調であったりと、共同で使う部分にいくつか問題が見受けられたが、個々の部屋には冷暖房が完備されていて快適に過ごすことが出来た。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 — 、(日本円) 約 — 円 ⇨協定留学の為、学習院大学に学費を納付

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 20000 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 4800000 ウォン 、(日本円) 約 50000 円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード
現金 / その他 (海外送金(Wise))

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

現地では、基本的に海外利用に対するキャッシュバック機能のあるライフカードを使用しました。また、あらかじめ両替しておいた現金を持っていくことでカードが使えない場合に備えました(市場や日本のカードが使えないお店など)。その後は、韓国の口座・カードを作り日本から送金をしてもらうこともありました。韓国カードは、主にネットでの購入時に使用しました。また韓国の口座があると、友達間での送金が楽なので作ることをおすすめします。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

基本的に奨学金受給費は、韓国入国後 2 週間の隔離部屋費と宿舍費に充て、残った分を生活必需品の購入に充てました。

宿舍費 約 190000 円 + 隔離部屋費 約 87000 円 + 生活必需品代 約 13000 円

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日動火災保険株式会社

(2) 保険料

106,080 円

(3) 加入した保険の種類、内容

H19 長期の中で一番手厚いプラン

(4) 感想、良かった点・悪かった点

特に利用することはなく、安全に留学を終えることが出来たのでよかったです。良いものほど金額も上がりますが、もしもの際の安心材料として加入していてよかったと思います。また、日本国内で保険に加入している場合(保険内容に条件あり)、申請をすることで韓国国内での保険に入らなくてもよい制度があります。(日本人とフランス人のみ)

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

圧縮袋、ヒートテック

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

大きなバスタオル(大きいと干す場所が取られてしまう)、歩きにくい靴(大邱は傾斜が多い)

(4) 持って行けば良かったと思う物

基本的に韓国でも買えるものがほとんどなので、持っていけば良かったと思うものは特にありませんでした。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

講義の前後は自室やカフェで勉強することが多かったです。夕食は、大学周辺で外食したり、時間があるときはセントラルパークで食事をすることもありました。また、夜には構内を散歩したり、コート場でバスケットボールやバドミントンをしたりして過ごしました。

(2) 週末

学校からバスで 15 分ほどに位置する市街(東城路)に出かけたり、高速バスで地方の観光地へ旅行することが多かったです。また、韓国は山地が全土の 75% を占めており、大邱にもいくつか山があります。その為、登山をしに山に行くこともありました。他には、ミュージカルや野球観戦、またアーティストの公演を見に行ったりもしました。

8. 後輩へのアドバイス等

コロナウイルスの影響により、未だ自由な留学を行わずらい環境にあると思います。実際に私も、当初の予定より約 2 年遅れての留学となりました。コロナにより先が見えず諦めようと考えたこともありましたが、今これらを振り返ると、そうした環境で挑戦した留学はとても意義深く、行ってよかったと強く感じています。

後輩の皆さんも留学を行うにあたり色々な考えが浮かび、選択が難しいこともあるかと思い

ます。ですが、留学を通して得られる経験や交流は何物にも代えられません。なので、機会があれば後輩の皆さんにもぜひ挑戦してほしいと思います。頑張ってください！

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

慶北大学生で韓国での大学生活や韓国についての情報を発信している YouTuber の方を紹介します。韓国語の勉強方法や語学堂関係、Vlog、モッパン等と様々なコンテンツの動画を載せているので、この方のチャンネルを見て少しでも韓国の大学や韓国留学の雰囲気を感じてもらえればと思います:)

---さや사야 TV <https://www.youtube.com/channel/UCJ1n_xLegrS1Xn7fvf4RtTw/featured> ---